

中尾金属(株) 環境経営レポート

活動期間：2021年9月～2022年8月

発行年月日：2022年10月30日

東京本社



静岡加工センター



東北支店



中部支店



中尾金属の環境経営方針

- ・企業活動のあらゆる面で省資源と省エネに努め、自然環境と調和した豊かな社会作りに貢献します。
- ・環境関連法規及びアクション21の要求事項を遵守し、社員の環境保全に対する意識向上に努めます。
- ・全社の環境活動でコミュニケーションの充実に努め、マネジメントシステムを継続的に改善します。

環境理念

当社は、企業活動のあらゆる面で、地球環境の保全・維持に努め自然環境と調和した豊かな、社会づくりに貢献してまいります。

環境保全への行動指針

- ① 温室効果ガス排出量を大幅に削減する「低炭素社会」
- ② 資源循環（Reduce、Reuse、Recycle）による「循環型社会」
- ③ 自然の恵みの享受を継承する「自然共生社会」

この3つを統合した『持続可能な社会』を構築していくために、積極的に環境の取り組みを行う必要があると考え、ISOに準拠した国内認証の『アクション21』を取得して環境活動を行っています。

環境経営計画

事業内容等	非鉄金属の卸売業／加工品等の販売	
事業を取巻く状況	『社内』 消費対策：電気、ガソリン／環境活動への認識と協力体制 『社外』 環境物質情報の管理に関する取引先との連携	
事業と環境とのかかわり	一般廃棄物の管理／副資材の購入管理／使用燃料の管理（電気、ガソリン）	
経営方針	『アクション21を遵守した環境改善』 環境経営目標に則し、職場環境や対外的環境対応について全社目標を達成する。	
	事業者の内部に起因するもの	事業者の外部に起因するもの
経営における課題	・設備の老朽化による生産、品質及び作業性の確保	・需要変動の影響が大きい ・小ロット、多品種生産への対応力 ・加工技術と設備による優位性の確保 ・電力、化石燃料の高騰
経営におけるチャンス	・最新設備導入による生産、品質及び生産性の向上 ・同上による、独自の自社技術の構築 ・ISO9001、EA21を基軸とした全社員参加の活動	・新しい設備導入による拡販への展開 ・同上による、コスト削減及び収益性の向上 ・顧客が要望する品質管理を独自に対応 ・海外材の取扱い

2004年02月20日 制定

2018年09月01日 改訂

中尾金属株式会社 代表取締役
藤田貴弘

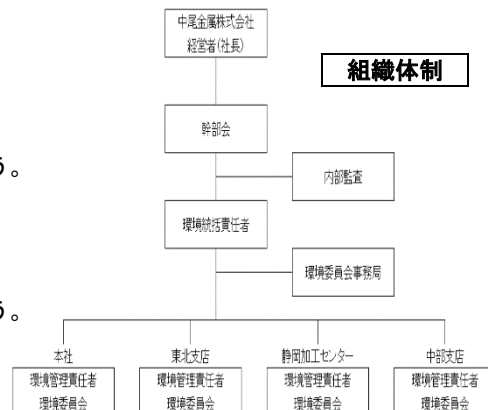


1. 組織の概要

- 事業所名 : 中尾金属株式会社
- 代表者 : 代表取締役 藤田貴弘
- 所在地 : ・本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-6-7 日本橋日銀通りビル5階
 ・静岡加工センター 〒421-0216 静岡県焼津市相川 2127
 ・東北支店 〒981-3304 宮城県富谷市ひより台 2-2-5
 ・中部支店 〒392-0015 長野県諏訪市中洲 4812
- 責任者 : 環境経営責任者 鈴木雅宣 (本社勤務)
 事務局担当者 飯田浩一郎
 連絡先 TEL:03-3270-3321(代表) / FAX:03-3270-3910
- 事業内容 : 非鉄金属材料及び非鉄金属加工品の販売
 非鉄金属材料の加工 (スリット・切断等)
- 対象範囲 : 全組織、全活動
- 事業規模 : ・売上高 1,620,000 万円
 ・従業員数 79 人
 ・資本金 6,000 万円
 ・延べ床面積 6,127 m²
 ・認証制度 ISO9001:2015 有効期限: 2024/9/30 認証番号: G2021-03635
 エコアクション 21:2017 有効期限: 2024/3/20 認証番号: 0002300
 ・ホームページ <https://www.nakao-metal.co.jp/>

2. 実施体制と役割

- 経営者 (社長) ・最高経営層と位置付けし、環境経営方針を制定する。
 ・環境委員会のとりまとめを行う統括責任者を任命する。
 ・環境経営システムの見直しと評価を行う。
- 幹部会 ・環境活動の運営と環境経営システムに対する取決め事項の承認を行う。
 (環境経営マニュアル/環境経営目標/中長期目標/環境活動計画/環境経営レポート)
- 環境統括責任者 ・環境活動の運営/環境経営システムの取りまとめを行い、運営全体の責任を担う。
 ・環境活動の運営/環境経営システムの見直し及び改善のため、実績を経営者(社長)へ報告する。
- 環境委員会 ・事業所の環境経営目標/環境活動計画を取決める。
 ・環境負荷の自己チェック/取組項目の自己チェックの実施と評価を行う。
 ・運営内容と結果を社員へ発表する。
 ・環境活動総括表の取りまとめを行う。
- 環境委員会事務局 ・全社会議及び内部監査の日程管理を行う。
 ・環境活動に関する文書の取りまとめと配信を行う。
 ・環境委員会の運営成果の取りまとめを行う。
 ・環境経営レポートの取りまとめを行う。
 ・環境関連法規の確認と事業所への情報配信を行う。
- 全社会議 ・事業所毎の環境委員会の代表者が集まり、
 環境活動の報告/評価/計画の策定を行う。



3. 取扱商品

銅及び銅合金

- ・純銅系及び銅系新合金（板、条、棒、線）
- ・黄銅（板、条、棒、管、線）
- ・燐青銅及び洋白（条、棒、線）

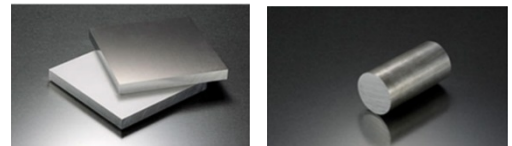


主な用途

機械部品、電気部品、車載用部品、電子部品、空調部品、熱交換器部品、装飾品、半導体、端子、大導電流端子、シールドコネクタ、コンデンサ、インダクタ、B to Bコネクタ、細線同軸等コネクタ、スイッチ部品、電気部品民生コネクタ、水晶振動子、熱交換器部品

アルミニウム及び加工

- ・純アルミ系(板、条、棒、線) 1000系
- ・Al-Cu系アルミニウム(板、棒、型材) 2000系
- ・Al-Mn系アルミニウム(板、条) 3000系
- ・Al-Si系アルミニウム(棒、型材) 4000系
- ・Al-Mg系アルミニウム(板、条、棒、パイプ、型材) 5000系
- ・Al-Mg-Si系アルミニウム(板、条、型材、棒、パイプ) 6000系
- ・Al-Zn-Mg系アルミニウム(板、棒、パイプ、型材) 7000系
- ・鋳造、鍛造材および加工品



主な用途

家電製品、日用品、照明器具、送配電用材料、熱交換器、車載用部品、装飾品、建材、構造用材、鍛造材、船舶用部品、航空機用部品、衫、リベット、空気圧部品、カーアルミ、電球口金、金属ハット、軸受、アルミ缶ボディ材、電池ケース、車載用部品、複写機ドラム、溶接ワイヤ、エアコン、鍛造ヒートシフト材料、シフトヘッド、建設ハル、製造装置部材、缶蓋材、車両用部品、鋳鉄管、アルミホイール、圧力容器、家具、車両用部品、ブラインド材、アルミサッシ、鉄道車両、シフト部品、空気圧部品、スポーツ用品、歯車、ブレーキシュー、機械部品



4. 環境経営目標と実績

環境経営目標

事業に必要な要素（人員、機械設備、品質、消耗品、資産 等）の投入について、環境効果と活動内容を検討し、環境負荷の削減または維持を行う環境活動の目標を全社会議にて取決める。

中期及び単年度目標の設定

環境活動の運用状況を判断しながら、下記の項目毎に、基準年度から3年間及び単年度の達成数値目標を取決める。

- ・ 二酸化炭素排出量 / ・ 廃棄物排出量 / ・ 水使用量 / ・ エネルギー使用量（電気 / 化石燃料）
- ・ 取り扱う製品の環境性能の向上及びサービスの改善（ISO認証：ISO9001のQMSにて詳細は設定）

※運用集計基準年度：2018/9/1 ～ 2019/8/31

排出係数 本 社：0.462kg-Co2/kWh、中部支店：0.472kg-Co2/kWh

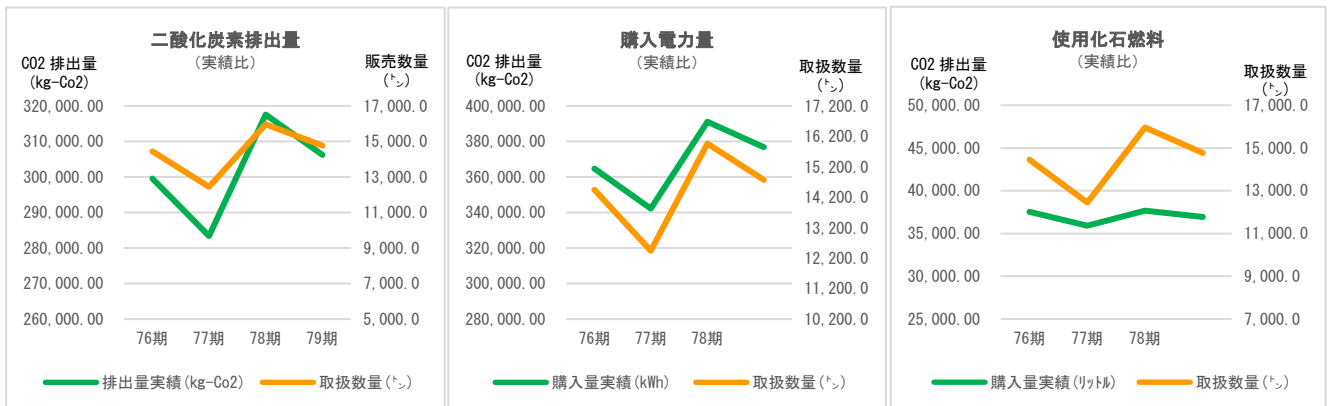
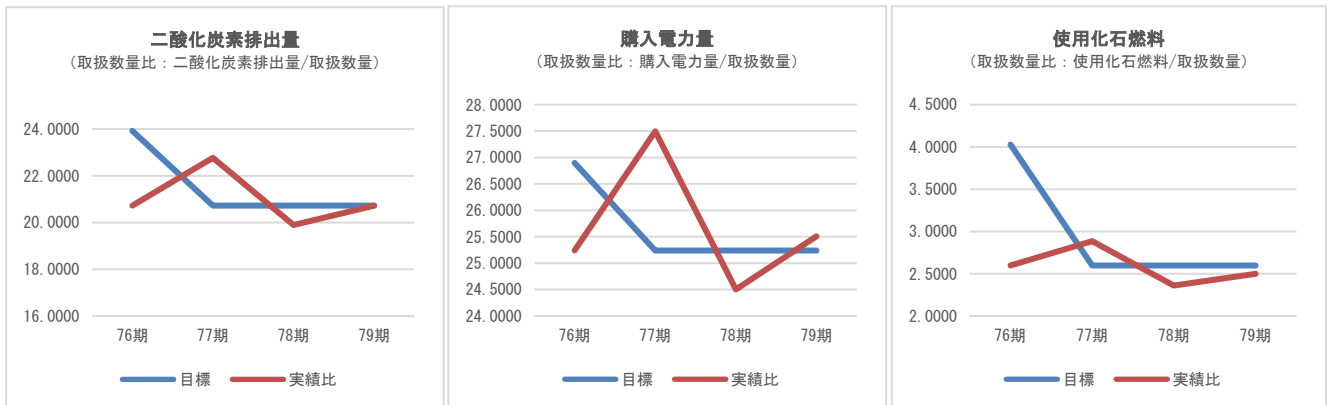
東北支店：0.523kg-Co2/kWh、静岡加工センター：0.596kg-Co2/kWh

3年間の運用結果

次年度目標

項目	単位	基準年度：76期 取扱数量 14,451.2 トン		活動年度			基準年度：79期 取扱数量 14,771.4 トン		活動年度
		実績	対取扱比	77期 目標	78期 目標	79期 目標	79期 目標	80期 目標	
Co2 排出量	kg-Co2	299,515.38	20.73	20.73	20.73	20.73	306,220.70	20.73	20.73
購入電力	kWh	364,738.00	25.24	25.24	25.24	25.24	376,815.00	25.51	25.51
化石燃料	リットル	37,537.34	2.60	2.60	2.60	2.60	36,931.00	2.50	2.50
水使用量	m ³	878.83	0.06	0.06	0.06	0.06	354.82	0.02	0.02
廃棄物排出量	kg	8,879.50	0.61	0.61	0.61	0.61	35,045.40	0.24	0.24

項目	単位	77期 取扱数量 12,445.8 トン				78期 取扱数量 15,961.3 トン				79期 取扱数量 14,771.4 トン			
		排出量実績	目標	実績	結果	排出量実績	目標	実績	結果	排出量実績	目標	実績	結果
Co2 排出量	kg-Co2	283,395.15	20.73	22.77	×	317,555.91	20.73	19.90	○	306,220.70	20.73	20.73	○
購入電力	kWh	342,209.00	25.24	27.50	×	391,089.00	25.24	24.50	○	376,815.00	25.24	25.51	○
化石燃料	リットル	35,910.12	2.60	2.89	×	37,671.71	2.60	2.36	○	36,931.00	2.60	2.50	○
水使用量	m ³	1,046.11	0.06	0.08	×	388.34	0.06	0.02	○	354.82	0.06	0.02	○
廃棄物排出量	kg	19,769.50	0.61	1.59	×	24,526.80	0.61	1.54	×	35,045.40	0.61	0.24	○



5. 環境経営計画の取組結果とその評価

本社 ※運用結果判定基準：○/目標達成、△/目標未達又は改善余地あり、×/目標未達成

取組項目	結果	評価	次年度の取組項目
電気・ガスの使用量が7月の数値検証	○	出社/営業活動が緩和されたので、使用実績ベースでは使用量増だが、販売増により取扱比では減となる	環境活動と経営目標をつなげるために継続は必須と判断
新システムの運用調査	△	活動実績/経営対比のベースを作成したが、コロナの影響で正常対比できず	環境活動を見直した上で継続と判断
グループ単位での活動強化 (理解と協力の推進)	△	リモート勤務の割合が増え、当初、想定していたセッションが行えていない	グループ単位での活動強化の継続 (節電/連絡等、環境活動内容への理解と協力の推進)
社有車・レンタカー (使用ガスの圧縮・啓発)	△	使用実績では増えているが、販売量でカバーできているだけで目標数値には少し足りない	社員への周知方法のやり直しのため継続
ゴミの分別徹底	○	概ね良好	ゴミの分別徹底には継続性が必要と判断
環境活動に対する深耕 (勉強会の実施)	○	出社調整等により計画通りの開催実施ができなかった	環境活動に対する“深耕”の継続
SDGsへの取組方の検討	—	SDGs方針の社内マニュアル改訂/承認を実施	具体的な取組み方向と目標の設定

静岡加工センター

取組項目	結果	評価	次年度の取組項目
安全衛生・5Sパトロール ・安全確保/無理無駄/回避で不適合削減	○	三菱マテリアル殿の外注監査でお褒めを頂けたが、センター長目線ではまだ活動不足	80期製造G活動継続を指示
紙ゴミの削減 (焼却・燃料⇒リサイクルへ)	○	書類の分別は習慣化された為、非常に良い	活動継続
母材合紙の排出先変更	○	紙管除去作業廃止による構内美化継続	契約継続
緊急事態対応訓練 (浄化槽の汚水漏れ及びオイル流出時)	○	スクラップ材入庫時、適時吸着マットによる油除去を実施していた	活動継続
避難&消火訓練(火災発生時の避難誘導放水ポンプの稼働確認)	△	避難訓練未実施、可搬ポンプ確認は来期9月実施予定	活動継続

東北支店

取組項目	結果	評価	次年度の取組項目
蛍光灯の見直/検討/点検/清掃	△	R3.12月1回の清掃となった。屋外灯時間設定季節により変更対応していたが改善必要	事務所側LED清掃活動継続(年2回)、外灯の点灯消灯時間管理
低燃費車購入	○	9月4tonトラック入替は変わらず⇒燃費0.3km/l向上、78期比販売量約1,000ton減もあり、化石燃料も4,222リッター減	次回入替時検討
エアコンフィルターの清掃	○	9月・12月・3月・6月清掃実施	エアコンフィルターの清掃(3ヶ月/1回)含め、室外機点検継続
水使用量の削減	○	啓発活動継続実施⇒78期70m ³ に対し79期67m ³	啓発活動強化にて活動継続
アイドリングSTOP	○	啓発活動継続実施、トラック積載効率実績評価	活動継続
再生資源化(3R推進)	○	鉄パレット=1,370kg、木パレット=4,910kg、段ボール=600kg、合紙65kg	合紙の再利用含め、活動継続
緑化推進自動販売機導入 緑の募金開始、電気使用量削減	○	R2/9より自販機入替(旧990kw⇒新580kw)、2021年募金額¥3,525の実績	緑の募金継続

中部支店

取組項目	結果	評価	次年度の取組項目
グッドトリック募金契約継続(ミドリ募金)	○	79期実施募金金額 ¥2,818(2020年12月~2021年11月)	80期継続実施
アクションの資料とデータ集計	○	79期電力や灯油等の使用量のデータ取り、中部支店の化石燃料使用量の推移を調査。毎月環境メーキングで確認。	80期継続実施
ノ残業デー実施	○	計画通り実施。	80期継続実施
空調管理	○	26℃風力最小設定。エアコン清掃/室外機点検計画通り実施。	80期継続実施
節電活動の効果の確認	○	節電活動の効果を示すことによって社員全体の環境への意識を高めた結果、昨年より削減できた。	80期継続実施
カービズ/カームビズ	○	ポスター掲示。 グループウェアにて支店長より周知。	80期継続実施
取組み取引先への視察・セミナーの参加	×	取引先の活動・見学についてはコロナ終息後実施予定。	80期継続実施
廃油漏れの訓練実施	○	8/5に廃油漏れ訓練実施。	80期継続実施
啓発活動	○	計画通り実施。	
3Rの推進	○	計画通り実施。	80期継続実施

6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況

各拠点に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

各拠点とも過去3年間、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

本社 環境管理責任者/飯田

法規・条例・規制	遵守状況	遵守状況の確認
廃棄物の処理及び (一般/産業廃棄物)	・産業廃棄物管理票(マニフェスト) 管理の実施 ・処理業者との委託処理契約の締結	2022/08/30
消防法	・消防関連設備の点検と報告	2022/08/30
その他の規制	・規制物質の不使用 (SDS, 不使用証明書等の管理)	2022/08/30

静岡加工センター 環境管理責任者/牧

法規・条例・規制	遵守状況	遵守状況の確認
廃棄物の処理及び (一般/産業廃棄物)	・産業廃棄物管理票(マニフェスト)/ 管理の実施	2022/08/30
	・廃棄置場の明示	2022/08/30
	・処理業者との委託処理契約の締結 (フェイと締結/木材開発は2016.01.07締結)	2021/08/06
	・反社会的勢力排除に関する覚書締結	2022/04/14
	・産業廃棄物管理票に関する報告	2022/06/01
浄化槽法	・施行規則第5条に基づく浄化槽保守点検の実施 (2020.08.17 小型合併槽)	2022/08/04
	・法第11条に基づき処理水の水質検査の実施	2022/03/15
	・2020年8月17日に小型合併処理浄化槽に入れ替え、同日にメンテナンスを再契約済み	2021/08/17
700排出抑制法	・エアコン室外機点検の実施 第1種特定製品 (7.5kw未満) 簡易点検(3ヶ月に1回)	2022/08/30
消防法	・消防関連設備の点検と報告	2022/03/01
その他の規制	・規制物質の不使用 (SDS, 不使用証明書等の管理) 最新版の管理	最新版管理

東北支店 環境管理責任者/高橋

法規・条例・規制	遵守状況	遵守状況の確認
廃棄物の処理及び (一般/産業廃棄物)	・産業廃棄物管理票(マニフェスト) の交付と管理 ・廃棄物置場の明示及び指定業者への回収委託	2022/09/27
700排出抑制法	・廃棄時に廃棄業者へ委託(処理実績なし) ・エアコン室外機の簡易点検(3ヶ月に1回)	2022/09/27
消防法	・消防関連設備の点検と報告	2022/09/27
その他の規制	・規制物質の不使用 (SDS, 不使用証明書等の管理)	2022/09/27

中部支店 環境管理責任者/竹本

法規・条例・規制	遵守状況	遵守状況の確認
廃棄物の処理及び (一般/産業廃棄物)	・産業廃棄物管理票(マニフェスト) 管理の実施 ・廃棄置場の明示 ・処理業者との委託処理契約の締結	2022/08/29
700排出抑制法	・廃棄時に廃棄業者へ委託(処理実績なし) ・エアコン室外機の簡易点検(3ヶ月に1回)	2022/08/29
消防法	・消防関連設備の点検と報告 (有新村産業により毎年8月に点検・消防に報告) ・危険物取扱い(少量危険物の保管)	2022/08/29
その他の規制	・規制物質の不使用 (SDS, 不使用証明書等の管理)	2022/08/29

7. 環境上の緊急事態への準備及び対応

当社の販売業務の中では、環境活動における環境上の事故及び緊急事態は発生しない想定です。
但し、企業全体の業務として想定した場合、ISO/BCP/安全衛生管理を個別に設定し、運用管理を実施します。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

79 期販売量前期比 83.3%とダウン 在庫及び部品不足による調整にて納入量減、まだコロナ影響による訪問出来ない顧客もある事により、化石燃料(ガソリン、軽油)も 82.9%とダウンであった。

電力については、3.9%アップしており、年毎の天候もあるが、事務所内換気の実施継続しておりエアコンの消費が多かったと思われる。CO₂排出量は化石燃料のダウンが大きく 53,493kg-CO₂と前期比 87.5 とダウン販売量の減少による排出量減となっておりますが、今後も二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。

2022 年 09 月 10 日 東北支店 環境管理責任者 高橋裕一



79 期は、売上の大幅増加に伴い(前期比：売上額 144.5% 生産量 11.8%)、電力使用料と化石燃料も増加した事により CO₂排出量も前年比 104.0%の結果となりました。環境経営の観点で考えると、生産売上数量が増えれば CO₂発生も増えてきますが、さらに社員の意識を高め、CO₂排出削減に繋がる活動を考えながら、新しい事に取り組んで下さい。

2022 年 8 月 30 日 中部支店 環境管理責任者 竹本靖



80 期、化石燃料高騰、極度の円安に伴う電力料金上昇、副資材の高騰を受ける為、消費量を抑える努力が必要。結果、無駄な資源の消費削減に繋げたい。

2022 年 9 月 30 日 静岡加工センター 環境管理責任者 牧祥行



行動制限の緩和による出勤率及び営業活動の活性化によって、今期は目標数値に対して電灯使用量：104.7%、ガソリン使用量：105.7%の結果となった。使用したエネルギーの実績数値の増え幅(114.7%)よりは抑えた数値となっているので、使用量より取扱量の増え幅が大きいため結果と判断し、経営的には良好と判断するが、環境活動としては維持を目標としているため、使用するエネルギーの用途と管理には更なる改善が必要と考え、次年度の取組につなげていきたい。

2022 年 9 月 30 日 本社 代表者 飯田浩一郎



環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

取締役 環境統括責任者

鈴木雅宣(代)

